

穂 学

平成28年度

広州日本人学校学校便り

[No. 11]

平成29年2月21日(火)(P)

発行責任者 教頭 高橋秀之

◇◆母校、広州日本人学校◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇ 校長 丸本 互

2月も残すところわずかになり、卒業式・修了式も間近に迫ってきました。校門を入った右手の奥にある桜の花も咲き、春の訪れを随所を感じる頃となってまいりました。私も、早いもので広州日本人学校に赴任して1年が過ぎようとしています。

この1年間いろいろなことがありました。4月の入学式から始まり雨で延期された運動会。各学年の体験的な学習や宿泊体験学習。学習発表会や夏祭りなどの保護者の方々に参加いただいた活動。いろいろな場面で、ご協力やお力添えを頂きました。本当に感謝しております。ありがとうございました。

3月9日、小学部31名、中学部17名が卒業します。6年間・3年間の成長を確かめながら進学先への希望をふくらませ、すばらしい卒業式を創りあげてくれることと思います。

さて、集会で小学部低学年の子どもたちと卒業生が並ぶとその差に驚きます。小学校6年間・中学校3年間の成長を実感する時です。それは決して身体の成長だけではありません。その姿や表情には広州日本人学校をリードしているという自信と、多くの学習と経験を積み重ねて得た力がみなぎっているように感じられます。さらに残りの日々で、小学部6年生は中学生になる自覚と自信を付け、中学部3年生は新たな高校生活への夢をふくらませてほしいと思っています。これからの中学校あるいは高校での生活は、しっかりと自分の生き方や目標を持たないと安易な方向へ流されてしまいます。

今後の3年間は卒業生の皆さんにとってとても大切な時期です。活躍の場はたくさんあります。新しい学習、友だちづくり、そして部活動。どれをとっても挑戦するに値するものばかりです。くじけることなく挑戦し続けてほしいと願っています。

私達は日々生活していく中で、多くの出会い、ふれ合い、別れを経験しながら生きています。私達の周りには相談に乗ってくれる友だちが、励ましてくれる先生が、温かく見守ってくれる家族がいます。多くの人と関わりながら、さらに大きく成長して行って欲しいと強く願っています。広州日本人学校を卒業するみなさんにとって、学校はいつまでも母校です。困ったとき、悩んだときに広州日本人学校を思い出してください。たくさんの楽しかった学校生活を思い返してください。きっとどんな困難も乗り越えることができることと思います。

母校、広州日本人学校を心の中に強く刻み込んで卒業してくれることを願っています。

新一年生 体験入学会

お世話の5年生も緊張疲れ?



2月15日(水)来春の新生を対象とした体験入学会が行われました。お世話係は4月から小学部最高学年になる5年生。家庭科の学習(家族生活)の一環です。[広州日本人学校おりじなるがいど]も作って当日の歓迎準備は万端。園児らも緊張しているのか5年生の手を頼りにしっかり握っています。体験入学会は面接や体育館での運動などを行って90分間の短い時間でしたが、お別れのときには、さよならをして立って移動する5年生に思わず付いていこうとする園児の姿もみられ、ちょっとした絆ができたような感じでした。4月入学してきたら、あらためて歓迎し、登下校や教室掃除の際にお世話してあげましょう。



☆☆☆☆今年度の授業参観☆☆☆☆ 2月11日(土)

2月11日は3コマを開放しての授業参観。多数の保護者の参観をいただき子どもたちも大張り切りの様子でした。1/2成人式や音楽会をお見せする学年もありましたが、担任の授業に限らず、英語や中国語、体育や美術と普段の学習の様子を見て頂く機会としましたのでお子さんのいろいろな活動の場面を見ていただくことが出来たのではないのでしょうか。



←今回は格技室を休憩に開放。ちょっと飽きてきた幼児には畳のフロアがちょうどよい遊び場になりました。

*PTA総会の日(2月15日)は時間の許す範囲で2時間目を参観できます。

1月15日～2月14日の転出入情報 転入2 転出2 在籍数394名